

2026年6月9日

各位

近江鉄道株式会社

踏切無遮断での列車通過に関する調査報告について

2025年4月15日(火)に公表しました、近江鉄道本線の愛知川駅～五箇荘駅間の小幡踏切において、踏切の遮断かんが上昇した状態で列車が通過した事象について、調査および対策が完了しましたのでお知らせいたします。

当該踏切をご利用の方をはじめ、当該列車にご乗車されていたお客さまや関係する皆さまにご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫びいたします。

なお、本件発生後速やかに監督官庁に報告を行っております。

詳細は下記のとおりです。

記

1. 概要

- (1) 発生日時 2025年4月15日(火) 9時51分頃
- (2) 発生場所 近江鉄道本線 小幡踏切(滋賀県東近江市五箇荘小幡町783-1)
- (3) 概況 当該踏切において、列車通過中に遮断かんが上昇する事象が発生しました。運転士は踏切約50m手前で異常に気づき、警笛・非常ブレーキを操作しましたが、列車は踏切を約100m通過して停止しました。保安係員を派遣し、10時14分に運転を再開しました。なお、人身・接触事故は発生しておりません。

2. 原因 今回の事象は、踏切制御装置が外部からの電氣的ノイズの影響を受けて誤作動したことが原因です。踏切のセンサーが使用する電気信号にノイズが混入したため、センサーが「列車は通過済み」と誤認識し、列車が通過中にもかかわらず遮断かんが上昇しました。なお、鉄道技術の専門機関に協力いただき調査を行いました。ノイズ発生源の特定には至りませんでした。

3. 対応経過 発生日より係員による監視を行っていましたが、2025年4月18日に踏切の制御配線の変更による誤動作防止措置を行ったため、係員による踏切監視を解除し列車の一時停止措置に切り替えました。2025年11月17日に制御装置の周波数をノイズの影響を受けにくい周波数へ切り替える工事を実施し、翌18日からは一旦停止措置を時速15km以下での徐行運転に変更しました。なお、徐行運転は、2026年4月17日まで行いましたが、制御装置の周波数をノイズの影響を受けにくい周波数へ切り替える工事から5か月の間、一度も異常が発生しないことを確認したため、2026年4月18日より徐行運転を解除し、通常運転を再開しました。

以上